

*** ある日の育児日記から ***

**** (4) ****

佐藤 和代 ***



この春は、圭にとっても進級の季節です。保育園のつぼみ組（〇歳クラス）から、たんぼほ組（一歳クラス）へ。ひとつ大きくなるようで、何となくウキウキしてしまいます。

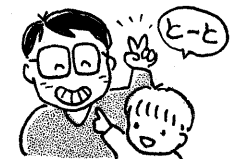
先日、保母さんから、子どもといっしょにたんぼほ組の部屋へ行くように言われました。部屋に慣れるためだそうです。ふーん、そんなものかな。と、帰りがけにたんぼほ組を訪問。ひと足ふみいれたとたん、なぜ「慣らし」が必要なのかわかりました。圭が、私にしがみついて、わーわー泣き出したのです。

ああ、幼い子にとって

部屋が変わるといのは大変なことなんだ。私だって、小学校低学年のころ、よそのクラスには

いるのはこわかった。妙によそよそしくて、早く出ていけ！と言われそうな気がしたものだ。まして圭は、つぼみ組以外知らないんだもの。

「進級」を軽く考えていた私も、ようやく覚悟し始めました。進級本番には、部屋だけでなく保母さんも変わるはず。圭にとっては、ちょっとした



圭は、お父さん（とーと）の房をお母さん（かっか）より早く呼び始めました。…おーあ。

試験の時期になりそうです。さて、親としてはここをどう受けとめましょうか。せめて家庭内はあまりバタバタしないように…。また当分、家事は手抜きになるかな？